

気持ちよく暮らせる 生活環境をみんなで作っていきましょう



▲市ホームページ

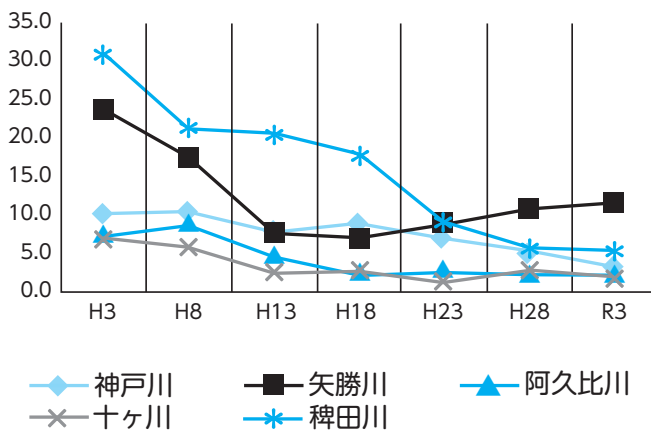
【問合わせ】環境課 ☎ 21-4001

6月は「環境月間」です。この機会に、身近な環境について考え、実行してみませんか。

川の水質改善をめざし、できることから始めましょう

市内河川のBOD濃度 (mg/ℓ)

※BODの値が低いほど水がきれい（生活環境保全の観点からは10mg/ℓ以下が望ましい）



◆わたしたちにできること

- ①下水道接続区域は、浄化槽から下水道へ切り替える。
- ②家庭の単独浄化槽を合併浄化槽に切り替える。
- ③農薬や肥料は適正量を使用し、田畑から流出しないよう心がける。
- ④畜産ふん尿を野積みせず、敷地内や周辺の清掃を行うなど、適切に管理する。

◆BOD(生物化学的酸素要求量)とは?

微生物が汚れ(有機物)を食べるために使った酸素の量のことで、川の汚れを調べるための目安として使われています。

川で魚が大量に死んでいることがあります。これは川の水が汚いためBOD濃度が高くなり、水の中の酸素が足りなくなることが原因の一つです。

所有地を適正に管理しましょう

◆草刈りや樹木の剪定を行いましょう

これからの季節、草木がぐんぐん育ちます。自宅のみでなく、現在利用していない所有地の適正管理も実施してください。市が空き地等の草刈りを行うことはできません。

雑草や樹木の管理を怠ると、伸びた枝などが隣接地に侵入したり、蛇や害虫が発生するなど、近隣の迷惑になります。また、火災や不法投棄の誘発を招くことも考えられるため、所有地の定期的な管理を必ず行いましょう。



地域の環境美化を考えましょう

◆犬のふん害対策

飼い犬のふんやおしっこの放置は、まちの美観を損ない、悪臭は周囲の人を不快にします。**ふんやおしっこの後始末は飼い主の責任**です。散歩時には、洗い流すための水やビニール袋などを持参し、後始末をしましょう。

◆ポイ捨てはやめましょう

駅周辺や幹線道路沿い、交差点には、たばこのポイ捨てが非常に多く見られます。たばこのポイ捨ては、まちの美観を損ねるだけでなく、火災の原因にもなり大変危険です。絶対にやめましょう。



これらのごみを拾ってくださるボランティアの方がいます。各自がごみを持ち帰り、気持ちよく過ごせるまちにしましょう。